

基本理念

高エネルギー加速器研究機構は、世界に開かれた研究機関として、加速器科学の発展に貢献するため、ここに基本理念を定める。

1. 研究

- 高エネルギー加速器を用いた素粒子・原子核並びに生命体を含む物質の構造・機能に関する研究を行い、自然界に働く法則や物質の構造・機能発現機構を探究することにより、人類の知的資産の拡大に貢献する。
- 大学共同利用機関法人として、国内外の大学・研究機関及び民間企業との共同利用、共同研究を積極的に推進し、加速器科学及び関連分野の最先端の研究と技術開発の発展に貢献する。
- 研究領域及び研究の方向性については、関連分野の研究者、研究コミュニティからの提案を基に、機構全体としての議論を行った上で中長期的なロードマップに位置付け、その実現に機構が一体となって取り組む。

2. 教育

- 総合研究大学院大学の基盤機関として、また大学との連携・協力により大学院学生を受け入れ、加速器科学関連分野の人材を育成する。

3. 社会との関係

- 研究成果を様々な形で積極的に社会に公開・還元し、社会の要請に応えるとともに、加速器科学に対する国民の理解の促進に努める。
- 国民と社会から委託された資産を有効に活用し、共同利用、研究及び業務等に関する評価を実施し、結果を公表する。

4. 運営

- 機構長のリーダーシップの下、機構の役職員が一体となった運営を行う。
- 科学研究に携わる公的機関として、社会からの信頼と負託に応えるため、安全遵守、不正防止や倫理保持等に取り組み、社会に対する説明責任を果たす。